

編集後記

『家庭科・家政教育研究』第11号をお届けいたします。第11号は「自由投稿論文」「実践論文」「資料」「研修会等の紹介」「その他」の構成になっております。

自由投稿論文では、本学人間生活学科の女子学生の家族観に関する論文を掲載することができました。学生は家族を精神的機能を持つ集団として意識しており、学校教育における家族機能に関する学習においては、社会的機能について指導することが必要であることを明らかにしています。家庭科教育における家族の指導内容に新たな視点をもたらす非常に意義深い内容となっております。

実践論文では、高等学校における料理部の夕食指導に関する実践を報告しています。実践を通して生徒たちは料理の方法を学ぶだけではなく、生活や生き方が変わっていくような学習になっていることがわかりました。これからも、ぜひこのような実践に取り組まれることを期待したいと思います。

資料では、三編を掲載しました。こちらは、いずれも藤女子大学家庭科教育研修講座で行った内容をベースに執筆されており、教育現場で活用していただける内容になっています。ぜひご活用ください。

ご執筆者の皆様、査読者の皆様には限られた時間の中でご協力いただきありがとうございます。今後も人間生活に関わる諸領域のテーマについての論文のご投稿を期待したいと思います。

本機関誌は、これからも家庭科・家政教育に関する情報を発信する場として役割を果たしていきたいと思っております。今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。

〔機関誌編集委員会〕

委員長	田中 宏実 (藤女子大学)
編集委員	飯村 しのぶ (藤女子大学)
	岡崎 由佳子 (藤女子大学)
	長尾 順子 (藤女子大学)
	永田 志津子 (札幌大谷大学)
編集幹事	坪田 由香子 (藤女子大学)